

中小ものづくり アドバイザー派遣事業

パネルディスカッション

生産性向上に向けた 業務プロセスの再構築



業務改善やプロセスの再構築に取り組みたいが、どこから始めればよいかわかっている企業様へ。実際に業務改革で成果を上げた企業の“生の声”をお届けします。

その時の必要性から市販システムを入れてきたが、全体最適ができていない、既存の仕事のやり方に固執し属人化している、情報は沢山あるが活用できていない、などの業務改革の必要性を感じておられますか？

日 時

令和7年12月4日(木) 14:00～ 15:30

※当日は13:45～アクセス開始

会 場

Teams開催

内 容

3社の成果事例から生産性向上へのヒントを得る

お申込み

<https://chiemori.jp/smart/event/y2025/20251204.html>

- 1.お申込みURLにアクセスしてください。(申込締切：12月2日（火）)
- 2.申込みフォームに必要事項を入力し、お申し込みください。
- 3.お客様のメールアドレス宛に、お申込み完了メールをお送りします



主 催：(一社)京都知恵産業創造の森、京都商工会議所

共 催：京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府雇用創造推進協議会、京都府

問合せ：一般社団法人 京都知恵産業創造の森 スマート社会推進部

TEL：075-353-2303 Mail：smart@chiemori.jp



CONTENTS



登壇者

司会者：多田 知史氏（合同会社 Business Departure 代表社員）
（京都府中小企業診断協会 副会長）

パネリスト：岩田 研氏（株式会社イワタ 店舗ユニット・ユニット長）
山口 裕司氏（二九精密機械工業株式会社 総務部 部長）
樋口 節雄氏（株式会社半兵衛麴 製造部 部長）
小笠原 知広氏（からすまビジネスラボ合同会社 代表社員）
炭谷 翔悟氏（株式会社Anamorphosis Networks 代表取締役）

成果事例

（30分）

企業	テーマ	取組内容
(株)イワタ	店舗から工場への 出荷指図の整流化	従来、出荷指図業務が店舗により異なっていた。店舗業務(注文書作成、システム登録、お客様カルテ記入、受注入力原票記入)を整理し、出荷指図を標準化し、コスト削減できた。
	システムからカンパンの 自動作成	従来、出荷指図からカンパン作成するための転記を手作業で行っていたが、上記システムからエクスポートしたデータを用いて、プロセスの簡素化・作業の簡易化が図られた。
二九精密機械 工業(株)	製造原価計算の効率 的なチャージ計算	従来、個別でデータ管理されていたが、各種データをダウンロードし新規作成の加工費算出ツールに貼付するだけで、自動計算できるようにした。これにより工数を30%削減できた。
	文書の周知・共通化と 承認手続きの効率化	グループウェアに格納されているドキュメントを、社内手続き/各部発信に分類し、ファイル共有システムに移行した。これをPortalサイトとして活用することで、最新版の共有と周知を一元化できた。
(株)半兵衛麴	物流業務の効率化・ 整流化	①業務全体像のヒヤリング・整理を行い、各業務毎の具体的な課題を抽出、課題解決への道程を作成した。②市場クレーム分析により、発生要因の確認と対策が確認できた。③物流ピッキング作業の改善により、物流業務のミス低減が見込まれる。
	計画業務の整理と適 正在庫の追求	販売計画と生産計画が連動していなかったが、製販会議の見直し改善が見られるようになった。

パネルディスカッション

（60分）

「生産性向上に向けた業務プロセスの再構築」